**自治会の目的**

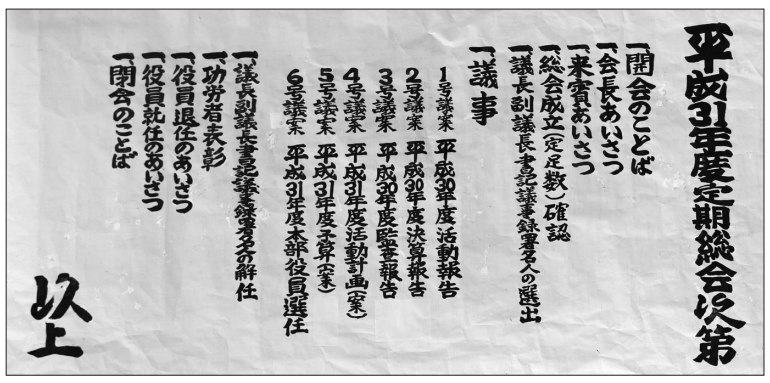
隣人愛と相互扶助の精神を基調とし、地域住民の親睦と団結を図りつつ社会環境の浄化向上に努め、明るく住みよいまちづくりに寄与する。

# 自治会報

発　行　中志津自治会
発行責任者　会　長　長谷川　稔
編集責任者　事務局長　黒木　高
所 在 地　佐倉市中志津 3-17-2
自治会センター内
電話（043）487－4894
http://www.nakashidu.sakura.ne.jp/

**収支計算書**　（単位：千円）

| 科　目 | 平成 30 年度決算（A） | 平成 31 年度予算（B） | 前年対比（B）－（A） |
|---|---|---|---|
| 経常収入合計 | 26,644 | 25,695 | ▲ 949 |
| （内訳） | | | |
| 基本財産等運用収入 | 5,736 | 5,713 | ▲ 23 |
| 会費収入 | 17,774 | 17,773 | ▲ 1 |
| 市補助金等収入 | 1,544 | 1,471 | ▲ 73 |
| 手数料・寄付金等収入 | 1,590 | 738 | ▲ 852 |
| 経常支出合計 | 24,287 | 21,583 | ▲ 2,704 |
| （内訳） | | | |
| 行事費 | 6,972 | 3,515 | ▲ 3,457 |
| 区活動費 | 6,729 | 6,723 | ▲ 6 |
| 弔慰金 | 670 | 780 | 110 |
| 事務局費及び事業費 | 6,401 | 6,632 | 231 |
| 総会費 | 1,002 | 979 | ▲ 23 |
| センター維持費 | 1,945 | 2,229 | 284 |
| 賛助金等その他 | 568 | 725 | 157 |
| 経常収支差額 | 2,357 | 4,112 | 1,755 |
| 固定資産取得費 | 2,601 | 781 | ▲ 1,820 |
| 当期収支差額 | ▲ 244 | 3,331 | 3,575 |
| 前期繰越金 | 68,065 | 67,821 | ▲ 244 |
| 次期繰越金 | 67,821 | 71,152 | 3,331 |


平成31年度定期総会次第

【開会のことば
【会長あいさつ
【来賓あいさつ
【総会成立（定足数）確認
【議長副議長書記議事録署名人の選出
【議事
1号議案　平成30年度活動報告
2号議案　平成30年度決算報告
3号議案　平成30年度監査報告
4号議案　平成31年度活動計画（案）
5号議案　平成31年度予算（案）
6号議案　平成31年度本部役員選任
【議長副議長書記議事録署名人の解任
【功労者表彰
【役員退任のあいさつ
【役員就任のあいさつ
【閉会のことば
以上

**世帯当り表決書面状提出集計**

| | 3月末会員世帯数 | 表決書面状提出数 | 提出率 |
|---|---|---|---|
| 1 区 | 381 | 361 | 94.8% |
| 2 区 | 390 | 377 | 96.7% |
| 3 区 | 434 | 405 | 93.3% |
| 4 区 | 380 | 366 | 96.3% |
| 5 区 | 382 | 366 | 95.8% |
| 6 区 | 407 | 387 | 95.1% |
| 7 区 | 342 | 315 | 92.1% |
| 総計 | 2,716 | 2,577 | 94.9% |

賛助会員を除く

（3 月末現在）

| | |
|---|---|
| 会　員　数 | 7,181 人 |
| 会員世帯数 | 2,748 世帯 |
| 非会員世帯数 | 412 世帯 |
| 世帯加入率 | 87.0% |

## 令和元年希望と元気で

自治会長
長谷川　稔

去る、四月二十八日（日）平成三十一年度自治会定期総会が開催されました。第一号議案から第六号議案はすべて原案通り承認いただきました。

自治会として本年も早速取り組まなければならない問題は山積です。役員一同力を合わせ頑張る所存です。会員の皆さんが気軽に行事に、喜んで参加でき、希望の持てる地域活動の推進を目指します。

さて、中志津自治会は創立から本年は五十一年目を迎え、新たな自治会づくりに挑戦したいと考えます。中志津も少子高齢化が進み、更に人口減少が加速します。今までの活動を継続しつつ、今後の十年後も考え、①高齢者支援事業に取り組みます。②子育て支援事業に取り組みます。③地域拠点の設立を図ります。この三点を、大変難しい課題でありますが、皆さんのご理解とご協力をいただきながら取り組みたいと決意しています。

高齢者支援については、元気と希望の持てる寄り添えが出来ないか。高齢者家族・高齢者の一人暮らし等にどう寄り添えるか。苦手な近隣の交流策はないか。子育て支援については、核家族の家庭が多く、子育ての助言をしてくれる祖父母もいない。家計のため共稼ぎをしなければならない世帯が増えている等々があります。地域拠点づくりについては、中志津は世帯が多いのに一か所の自治会センターしかない。一区・七区から行事等でセンターまで集まりにくい点があります。空き家が二百軒あります。市からの家賃補助等の援助を受け、各区の活動・防災活動拠点等含め地域の子ども・高齢者の集まり場所として活用が出来るようにしたら、各区の活気・活動にもっと元気が出ると考えます。

中志津の将来を考え、佐倉市を始め、地区社協・包括支援センター・近隣の介護施設・活動団体の皆さんのご協力をいただきながら実現してまいりたいと思います。

皆さんのご支援・ご協力をお願い申しあげまして挨拶とさせていただきます。

## 平成三十一年度功労者表彰

この度、区役員として当自治会にご尽力された方々が退任することになりました。多年にわたり自治会活動に携わり貢献された皆様には厚くお礼申し上げます。

【区退任者】

内田　孔三（二区区長）
小野寺　登（三区区長）
富田　義孝（三区副区長）
唐澤　幸子（三区副区長）
坂井　裕美（三区会計）
加藤　清喜（五区会計監事）
城地　一雄（七区副区長）

## 平成三十一年度定期総会

四月二十八日（日）に下志津小学校体育館で「平成三十一年度中志津自治会定期総会」が開催されました。

会員総数七千百八十一名（三月末現在）の内、有効表決書面状提出数は六千四百七十三名でした。総会出席者百三十六名、表決書面状の提出により総会出席とみなされた方を加えると六千六百九名で、会則に定める「会員の過半数」を超え総会は成立しました。

総会は山川剛議長（二区）、井口健司副議長（三区）を選出し以下の議案について審議が行われました。

一号議案　平成三十年度活動報告
二号議案　平成三十年度決算報告
三号議案　平成三十年度監査報告
四号議案　平成三十一年度活動計画（案）
五号議案　平成三十一年度予算（案）
六号議案　平成三十一年度本部役員選任

審議の結果、各議案は提案通り承認されました。

総会開催にあたって、短期間での議案書の各戸配布・出欠届（表決書面状）の回収には各区班長の皆様に、そして表決書面状の集計には総会管理委員会の皆様に特段のご協力を頂きました。感謝申し上げます。

### 平成三十年度決算について

平成三十年度の経常収入合計二千六百六十四万円に対し、経常支出合計二千四百二十九万円で経常収支差額二百三十五万円の黒字決算でありますが、老朽化した御輿の修理に伴う固定資産取得が発生し、当期収支差額は二十四万円の支出超過となりました。

その結果、前年度繰越額を下回る六千七百八十二万円が来期への繰越金として計上されました。

### 平成三十一年度予算について

平成三十一年度の経常収入合計二千五百七十万円に対し、経常支出合計は固定資産取得費を加えて二千二百三十六万円で三百三十三万円黒字の予算になっております。今期は花火大会開催の年でないことが、この黒字の主な要因です。

予算の内訳を昨年度決算と比べると収入の部で九十五万円減少します。この要因は花火大会のメッセージ料がなくなったものです。

支出の部は昨年度開催した花火大会関連及び中志津自治会創立五十周年記念事業がない関係で、昨年度決算に対し、二百七十万円の減少となります。固定資産取得費関連としましては、自治会センターロビーの利便性を考慮した改修工事により七十八万円の固定資産取得費が発生しました。

その他は昨年度並みの内訳となっております。